

## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年2月8日

上場会社名 株式会社ウィルグループ 上場取引所 東  
 コード番号 6089 URL <https://willgroup.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大原 茂  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 高山 智史 (TEL) 03-6859-8880  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月8日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	108,613	11.3	3,863	△7.3	3,745	△10.8	2,491	△18.0	2,278	△13.3	2,850	△4.6
2022年3月期第3四半期	97,608	10.7	4,165	28.4	4,197	37.8	3,036	40.8	2,628	39.9	2,986	△11.5

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	100.90	99.98
2022年3月期第3四半期	117.76	115.90

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	53,026	14,732	13,578	25.6
2022年3月期	52,350	13,121	11,398	21.8

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	34.00	34.00
2023年3月期	—	0.00	—		
2023年3月期（予想）				44.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	144,000	9.9	5,200	△5.0	5,050	△4.6	3,500	△9.2	3,200	△2.6	141.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	22,883,700株	2022年3月期	22,852,200株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	284,850株	2022年3月期	284,820株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	22,585,375株	2022年3月期3Q	22,318,354株

（注）期末自己株式には、役員向け株式交付信託の所有する当社株式が含まれています。

（2023年3月期3Q279,441株、2022年3月期279,441株）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	6
要約四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
要約四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、中国でのロックダウン解除、半導体製造能力の増強による供給制約緩和が経済回復基調をもたらした一方で、米国と欧州を中心とした金融引き締め強化により、景気後退入りの懸念が高まっています。また、日本経済においては、内需が堅調に推移し、景気は緩やかに持ち直しの動きが見られたものの、資源価格やエネルギー価格の高騰、円安等による物価上昇が続いており、依然として先行き不透明な状況が続いています。

このような状況の下、当社グループは、2023年3月期を最終年度とした中期経営計画「WILL-being 2023」の達成に向け、ポートフォリオシフト、デジタルシフトにより営業利益率を高める「WORK SHIFT戦略」に取り組みました。

国内においては、2022年10月以降は各領域において新規案件の開拓が徐々に進んでいるものの、7月から9月の新型コロナウイルス感染症再拡大により遅れた新規案件開拓を取り戻すには至りませんでした。

海外においては、ASEAN及びオセアニア地域で展開している人材サービスについては、世界的な景気後退が懸念される中で、ポストコロナの急激な人材紹介需要は第3四半期以降落ち着きつつありますが、人材派遣は堅調に推移しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上収益108,613百万円（前年同期比11.3%増）、営業利益3,863百万円（同7.3%減）、税引前四半期利益3,745百万円（同10.8%減）、四半期利益2,491百万円（同18.0%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益2,278百万円（同13.3%減）、及びEBITDA（営業利益+減価償却費及び償却費）は5,424百万円（同4.0%減）となりました。

セグメント別の業績は、次の通りです。

#### ①国内WORK事業

国内におけるセールスアウトソーシング領域、コールセンターアウトソーシング領域、ファクトリーアウトソーシング領域、介護領域、建設技術者領域等カテゴリーに特化した派遣、紹介及び業務請負を行う国内WORK事業については、2022年6月までは行動制限の緩和とともに回復基調にありましたが、2022年7月から9月にかけての新型コロナウイルス感染症が再拡大したことで、再び顧客の採用活動が抑制され、新規案件の獲得が遅れたことに加え、派遣スタッフの欠勤が相次ぎました。2022年10月以降は、各領域において新規案件の開拓が徐々に進んでいるものの、7月から9月の遅れを取り戻すには至りませんでした。また、各領域ともウィズコロナに対応した、営業代行サービス、在宅型のコンタクトセンターサービスなど新たなサービスの顧客開拓にも注力しました。

利益面においては、売上収益が増加し、売上総利益が伸長した一方で、Perm（人材紹介、専門性の高い領域への人材派遣）SHIFTに向け、建設技術者領域、スタートアップ人材支援領域において、営業人員、コンサルタント人員増員等の先行投資を実施しました。また、連結子会社のフォースタートアップス株式会社において、他社が運営する人材データベースを活用して人材支援が成約した場合に支払う手数料の支払い漏れが判明したことで、支払い漏れの手数料及び違約金（約400百万円）を計上したことにより、減益となりました。

以上の結果、国内WORK事業は、外部収益62,945百万円（前年同期比4.7%増）、セグメント利益3,162百万円（同7.4%減）となりました。

#### ②海外WORK事業

ASEAN及びオセアニア地域で展開している人材サービスについては、世界的な景気後退が懸念される中で、ポストコロナの急激な人材紹介需要は第3四半期以降落ち着きつつありますが、人材派遣は堅調に推移しました。また、為替相場が前年同期比でシンガポールドル（前第3四半期連結累計期間：82円、当第3四半期連結累計期間：98円）、オーストラリアドル（前第3四半期連結累計期間：82円、当第3四半期連結累計期間：93円）とも円安で進行しました。なお、当第3四半期連結累計期間の売上収益における為替影響は、約4,800百万円です。

利益面においては、人件費等の増加に加え、前年同期に計上したシンガポールにおける新型コロナウイルス対策としての雇用支援政府補助金収入が減少した一方、人材紹介売上が増加し売上総利益が伸長したこと、為替相場が円安で進行したことにより増益となりました。なお、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益における為替影響は、約340百万円です。

以上の結果、海外WORK事業は、外部収益43,948百万円（前年同期比20.6%増）、セグメント利益2,599百万円（同5.1%増）となりました。

#### ③その他

その他については、労働集約型ビジネス以外の拡大に向け、外国人ライフサポートサービス「エンポート」等、新たなプラットフォームの開発強化に引き続き取り組みました。ただし、外国人労働者の入国者数については限定的な状況が続いているため、外国人労働者向けサービスを一部縮小したことから、販管費が減少しました。

以上の結果、その他は、外部収益1,719百万円（前年同期比61.9%増）、セグメント損失212百万円（前年同期は316百万円の損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び資本の状況

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は27,084百万円となり、前連結会計年度末に比べ204百万円減少しました。これは主に、その他の流動資産が496百万円増加した一方、営業債権及びその他の債権が440百万円、現金及び現金同等物が273百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

非流動資産は25,942百万円となり、前連結会計年度末に比べ881百万円増加しました。これは主に、使用権資産が841百万円減少した一方、u&u GWS Pty Ltdの株式取得等によりのおれんが1,253百万円、その他の無形資産が477百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

以上の結果、総資産は53,026百万円となり、前連結会計年度末に比べ676百万円増加しました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は27,233百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,127百万円減少しました。これは主に、営業債務及びその他の債務が1,301百万円、その他の流動負債が657百万円それぞれ増加した一方、その他の金融負債が3,161百万円、未払法人所得税が697百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

非流動負債は11,061百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,193百万円増加しました。これは主に、その他の金融負債が669百万円減少した一方、借入金が1,901百万円増加したこと等によるものです。

以上の結果、負債合計は38,294百万円となり、前連結会計年度末に比べ934百万円減少しました。

#### (資本)

当第3四半期連結会計期間末における資本合計は14,732百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,610百万円増加しました。これは主に、非支配持分が569百万円減少した一方、利益剰余金が1,502百万円、その他の資本の構成要素のうち、在外営業活動体の換算差額が338百万円、資本剰余金が305百万円増加したこと等によるものです。

以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は25.6%（前連結会計年度末21.8%）となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末に比べ273百万円減少し、8,699百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは5,572百万円の収入（前年同四半期は4,998百万円の収入）となりました。これは主に、法人所得税の支払額2,195百万円等があった一方、税引前四半期利益の計上3,745百万円、営業債務の増加2,337百万円、減価償却費及び償却費の計上1,560百万円等があったことによるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは2,190百万円の支出（前年同四半期は98百万円の支出）となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1,757百万円、有形固定資産及び無形資産の取得による支出264百万円等があったことによるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは3,888百万円の支出（前年同四半期は5,087百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入れによる収入4,244百万円等があった一方、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出3,746百万円、長期借入金の返済による支出2,469百万円、リース負債の返済による支出961百万円、配当金の支払額776百万円等があったことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、本日（2023年2月8日）公表しました「2023年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の通りです。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	8,973	8,699
営業債権及びその他の債権	17,458	17,017
その他の金融資産	129	142
その他の流動資産	728	1,225
流動資産合計	27,289	27,084
非流動資産		
有形固定資産	1,223	1,115
使用権資産	6,809	5,968
のれん	6,514	7,768
その他の無形資産	6,154	6,631
持分法で会計処理されている投資	477	462
その他の金融資産	1,208	1,333
繰延税金資産	1,850	1,868
その他の非流動資産	822	793
非流動資産合計	25,061	25,942
資産合計	52,350	53,026

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	15,297	16,598
借入金	5,786	5,559
その他の金融負債	5,245	2,083
未払法人所得税	1,195	497
その他の流動負債	1,836	2,493
流動負債合計	29,361	27,233
非流動負債		
借入金	2,202	4,103
その他の金融負債	6,285	5,616
繰延税金負債	1,202	1,162
その他の非流動負債	177	178
非流動負債合計	9,867	11,061
負債合計	39,228	38,294
資本		
資本金	2,163	2,175
資本剰余金	△2,266	△1,960
自己株式	△274	△274
その他の資本の構成要素	464	825
利益剰余金	11,310	12,812
親会社の所有者に帰属する持分合計	11,398	13,578
非支配持分	1,723	1,153
資本合計	13,121	14,732
負債及び資本合計	52,350	53,026

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上収益	97,608	108,613
売上原価	76,313	84,450
売上総利益	21,294	24,163
販売費及び一般管理費	17,268	20,518
その他収益	202	237
その他費用	63	18
営業利益	4,165	3,863
持分法による投資損益(△は損失)	△13	△14
金融収益	104	8
金融費用	58	111
税引前四半期利益	4,197	3,745
法人所得税費用	1,160	1,254
四半期利益	3,036	2,491
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	2,628	2,278
非支配持分	408	212
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	117.76	100.90
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	115.90	99.98

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期利益	3,036	2,491
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産	△41	△44
純損益に振り替えられることのない項目合計	△41	△44
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△45	36
在外営業活動体の換算差額	37	366
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△7	403
税引後その他の包括利益	△49	358
四半期包括利益	2,986	2,850
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,601	2,639
非支配持分	384	210

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の 資本の構成 要素合計	利益剰余金	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2021年4月1日残高	2,089	△1,786	△279	△343	8,559	8,240	1,786	10,027
四半期利益	-	-	-	-	2,628	2,628	408	3,036
その他の包括利益	-	-	-	△26	-	△26	△23	△49
四半期包括利益合計	-	-	-	△26	2,628	2,601	384	2,986
剰余金の配当	-	-	-	-	△541	△541	-	△541
自己株式の取得	-	-	-	-	-	-	-	-
自己株式の処分	-	△1	5	-	-	3	-	3
株式報酬取引	24	56	-	-	-	81	-	81
企業結合による変動	-	1,233	-	-	-	1,233	△679	554
その他の資本の構成要素から利 益剰余金への振替	-	-	-	△3	3	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	△30	△30
所有者との取引額合計	24	1,288	5	△3	△537	777	△710	67
2021年12月31日時点の残高	2,114	△497	△274	△372	10,650	11,620	1,461	13,081

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の 資本の構成 要素合計	利益剰余金	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2022年4月1日残高	2,163	△2,266	△274	464	11,310	11,398	1,723	13,121
四半期利益	-	-	-	-	2,278	2,278	212	2,491
その他の包括利益	-	-	-	360	-	360	△1	358
四半期包括利益合計	-	-	-	360	2,278	2,639	210	2,850
剰余金の配当	-	-	-	-	△776	△776	-	△776
自己株式の取得	-	-	△0	-	-	△0	-	△0
自己株式の処分	-	-	-	-	-	-	-	-
株式報酬取引	11	95	-	-	-	106	-	106
企業結合による変動	-	210	-	-	-	210	△780	△569
その他の資本の構成要素から利 益剰余金への振替	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	0	0
所有者との取引額合計	11	305	△0	-	△776	△459	△779	△1,239
2022年12月31日時点の残高	2,175	△1,960	△274	825	12,812	13,578	1,153	14,732

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	4,197	3,745
減価償却費及び償却費	1,481	1,560
株式報酬費用	46	80
営業債権の増減額 (△は増加)	△937	749
営業債務の増減額 (△は減少)	1,394	2,337
営業活動その他	△149	△649
小計	6,033	7,823
利息及び配当金の受取額	7	8
利息の支払額	△58	△64
法人所得税の支払額	△983	△2,195
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,998	5,572
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△494	△264
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,757
投資活動その他	395	△169
投資活動によるキャッシュ・フロー	△98	△2,190
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,400	△100
長期借入れによる収入	1,060	4,244
長期借入金の返済による支出	△2,233	△2,469
リース負債の返済による支出	△916	△961
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△1,969	△3,746
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	931	—
非支配持分への配当金の支払額	△281	△373
配当金の支払額	△540	△776
財務活動その他	264	295
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,087	△3,888
現金及び現金同等物に係る為替変動の影響額	87	233
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△100	△273
現金及び現金同等物の期首残高	7,455	8,973
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,355	8,699

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

①報告セグメントの概要

当社グループは、サービス別に、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高経営意思決定者が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う事業セグメントを基礎として報告セグメントを決定し、以下の2つを報告セグメントとしています。

各報告セグメントの内容は以下の通りです。

報告セグメント	事業内容
国内WORK事業	主に国内における販売、コールセンター、工場、介護施設、建設技術者等カテゴリーに特化した派遣・紹介・業務請負、フォースタートアップス(株)が展開するスタートアップ企業向けの人材紹介を中心とした人材支援サービス等を行っています。
海外WORK事業	主にASEAN、オセアニア地域において、人材派遣・紹介を行っています。

上記に加え、HRTech分野の人材サービス、外国人ライフサポートサービス、ITエンジニア/クリエイター向け賃貸住宅(TECH RESIDENCE) 事業等がその他に含まれています。

## ②報告セグメント情報

報告セグメントの利益は、営業利益をベースとした数値です。

報告セグメントごとの情報は以下の通りです。

前第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

	報告セグメント			その他	調整額 (注2)	連結 財務諸表 計上額
	国内WORK 事業	海外WORK 事業	計			
売上収益						
外部収益	60,113	36,432	96,546	1,061	—	97,608
セグメント間収益(注1)	41	—	41	4	△45	—
計	60,155	36,432	96,588	1,065	△45	97,608
セグメント利益	3,416	2,473	5,889	△316	△1,407	4,165

(注1) セグメント間収益は、通常の市場価格に基づいています。

(注2) セグメント利益の調整額△1,407百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各事業セグメントに配分していない全社費用△1,406百万円が含まれています。全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費です。

当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

	報告セグメント			その他	調整額 (注2)	連結 財務諸表 計上額
	国内WORK 事業	海外WORK 事業	計			
売上収益						
外部収益	62,945	43,948	106,894	1,719	—	108,613
セグメント間収益(注1)	48	—	48	6	△55	—
計	62,994	43,948	106,943	1,725	△55	108,613
セグメント利益	3,162	2,599	5,761	△212	△1,686	3,863

(注1) セグメント間収益は、通常の市場価格に基づいています。

(注2) セグメント利益の調整額△1,686百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各事業セグメントに配分していない全社費用△1,685百万円が含まれています。全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費です。